

<社会貢献と成長>社会福祉法人伸こう福祉会がグレートカンパニーアワード大賞を受賞！

社会に著しい貢献が期待できる法人及び個人の健全な発展を支援する「グレートカンパニーアワード」を開催している一般財団法人船井財団は、2014年の「グレートカンパニーアワード」受賞8社を選定し、発表した。

グレートカンパニーとは、社会的価値の高い「理念」のもと、その「企業らしさ」を感じさせる独特のビジネスモデルを磨き上げ、その結果、持続的成長を続ける会社のこと。そして、社員と顧客が「素晴らしい会社」と誇りを持つくらい独特のカルチャーが形成されている企業を、グレートカンパニーと定義している。

今回、もっとも栄えある「グレートカンパニー大賞」として、神奈川県で特別養護老人ホームなどを運営する社会福祉法人伸こう福祉会が選ばれた。

伸こう福祉会が運営する特別養護老人ホーム「クロスハート栄・横浜」「クロスハート野七里・栄」「クロスハート幸・川崎」は、音楽スタッフやマッサージ、美容師などの専用スタッフを雇い、入居に対して「楽しく、きれいに、いつまでも」という方針のもと、本物のサービスを提供している。また、入居者だけではなく、家族や地域住民が気軽に利用できるセルフサービスのカフェコーナーがある。

ほかに、グループホーム11か所、有料老人ホーム2か所と、在宅サービス(居宅介護支援、訪問介護、通所介護、小規模多機能、ショートステイ)も運営している。

<医療介護制度の改正法案成立へ>

高齢化がピークを迎える「2025年問題」を見据え、医療・介護制度を一体で改革する「地域医療・介護推進法」が18日、成立した。患者や要介護者の急増で制度がもたなくなる恐れがあり、サービスや負担を大きく見直す。とりわけ介護保険は、高齢者の自己負担引き上げなど制度ができて以来の大改正で、「負担増・給付縮小」の厳しい中身が並ぶ。

●介護保険の負担引き上げ 医療・介護改革法が成立
人口減と高齢化が同時に進む日本。医療・介護制度は、高齢者の急増、支え手世代の減少、財政難の「三重苦」に直面する。厚生労働省によると、25年には医療給付費がいまの37兆円から54兆円に、介護給付費は10兆円から21兆円に膨らむ。病院にかかれない高齢患者があふれ、介護保険料は負担の限界を超えて高騰。そんな近未来の予測が現実味を帯びている。サービスを提供する人手の不足も深刻だ。

こうしたなかで保険財政立て直しを目指す介護保険分野は、利用者の痛みにつながるメニューが目立つ。負担面では、一定の所得(年金収入なら年280万円以上)がある人の自己負担割合を1割から2割に上げる。低所得者の保険料を軽減する一方、高所得者は上乘せする。高齢者にも支払い能力に応じて負担を求める方向が鮮明だ。

介護	15年 4月	所得が低い高齢者の保険料軽減を拡充
		特別養護老人ホームへの新規入居を原則「要介護3」以上に限る
	4月から段階的	「要支援」の通所・訪問介護サービスを市町村に移す
15年 8月	一定の所得がある人の自己負担割合を1割から2割に上げる	
	施設入居者向けの食費・部屋代補助を縮小	
医療	14年度	提供体制を見直す医療機関に補助金を配る基金を都道府県に創設
	15年 4月	都道府県が「地域医療構想」を作る。構想に従わない医療機関に指示できる権限を都道府県に与える
	15年 10月	医療事故を第三者機関に届け出て、調査する仕組みを新設

訪問リハビリマッサージ☆ 施術時間延長！30分～40分へ！

●当社は関係法規・指導に基づいた訪問・施術を行っております。施術実績も平成12年より 11年間で延べ3150人のご利用者様にリハビリマッサージを提供させて頂いております。総施術回数は48万回となっております。

*当社ホームページ(<http://sunmedical.biz/>)のブログにて「スタッフの声」が見れます！

<熱中症予防は「前脱水」のうちに補水を>

今年は当初、冷夏と予想されていたが、5月に30度を超える真夏日になるなど、体力のない子どもや高齢者にとっては、熱中症や脱水症の危険にさらされる時期が早くも到来した。

脱水症とは、身体の細胞から体液が失われ、日常生活や生命維持活動に障害が生じた状態をいうが、熱中症は高温環境下における発汗による脱水症が主な原因で起こる。つまり、両者はそもそも強く関連性はあるが、別のものである。

高齢者は脱水症になりやすいと言われるが、その理由として以下の点が上げられる。

1)体内水分量の減少 2)のどの渴きを感じにくい 3)温度感受性の低下 4)暑さへの耐性の低下

からだの危険を察知するセンサーが、加齢によって鈍くなっているところに、体内の水分量も成人が約60%であるのに対し、高齢者は50%にまで減少している。そのため、短時間に発汗して水分を失ってしまうと、すぐに脱水症になり血液が濃縮され、血管を塞いでしまう脳梗塞へ至ってしまう可能性が高くなる。

夏の高齢者の過ごし方は、室内の環境整備(温度・湿度管理、換気、常に水分を手に取りやすい場所に置くなど)も重要だが、外出の際には、温度の高い日中を避け、長時間、太陽が照りつける場所にいないようにするなどの工夫も必要だ。

最近、脱水症の前段階として「前脱水(まえだっすい)」という状態が知られている。

前脱水とは、脱水症のような症状はないけれど、体液量が減少して血液中の浸透圧が正常よりも増加している状態を指す。特に、もとより体液量の少ない高齢者は、起こりやすいとされている。

脱水症では体液の3%が失われるために症状が出やすいのに対し、前脱水では体液量が正常か、1~2%程度しか失われていないため、症状が出にくいとされる。つまり自分でも気がつかないうちに脱水症の一手前まで来ているかもしれない症状が、前脱水だと言う。

前脱水になるとまず食欲が減り、頭がぼんやりして体がだるいなど、夏バテや二日酔いのような「なんとなく気分がすぐれない」という体調不良があらわれる。これらのサインは、体液が失われることが一因となっている可能性があり、脱水症を発症する直前の体からの警告だといえる。そのため、前脱水のうちに水分と電解質を適切に補給し、失われた体液を補うことが必要となる。

この際、体が水分を吸収しやすいように成分を調整した経口補水液を摂取すると、速やかに体に不足しているナトリウムやカリウムがいきわたる。一人で過ごす時間が長いなど、見守りの目が届きにく高齢者には、ぜひ経口補水液を常備しておき、「普段より元気がない」などの症状があったら、積極的に補水してほしいと語っている。

☆施術体験☆

サン介護マッサージでは、ケアマネージャー様、介護スタッフ様等の介護関係に携わる皆様に向けての体験マッサージも行なっております。

サン介護マッサージの施術がどんなものか皆様に体験して頂き少しでも多くの方に知っていただきたいと思っております。下記連絡先までご連絡をお願いします。

また、事業所向けの研修等も開催させて頂いておりますのでお気軽にご相談ください。

TEL:0120-20-3600



<サン介護マッサージ>

健康保険による訪問リハビリマッサージ
お試しの体験マッサージ実施中

TEL 0120-20-3600